

2019 年度

全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会

教育課程部会

実施案内【速報】

主催 一般財団法人日本私学教育研究所 後援 日本私立中学高等学校連合会

研究のねらい

『主体的・対話的で深い学び』をかなえる授業と評価 ～ポートフォリオ・多面的評価の活用と課題～

2020 年度から順次実施される新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現とその視点に立った授業改善が求められている。学びの方向性が思考力・判断力・表現力の測定、多面的・総合的な学習プロセス評価の重視へとシフトしていく中で、生徒が協働的に学び、学習活動を振り返り、学びの記録を蓄積するための一つの手段として、ポートフォリオの活用と電子化が注目を集めている。

ポートフォリオや評価の主眼は、生徒が学びのプロセスを振り返り、キャリア形成と生涯の学びにつながるよう活用されることである。教員にはこれらのノウハウを共有し、教科の枠を超えて協力することで、新しい学びの具現化に向けて指導力を発揮してほしい。

2019 年度の当部会は、子どもたちの未来を見据えた授業づくりとポートフォリオや観点別評価をはじめとする多面的・総合的な評価に焦点を当て、プログラムを企画した。黒上晴夫・関西大学総合情報学部教授の基調講演、東山中学高等学校の授業・施設視察、分散会での討議を通して、今回の教育改革で提起された深い学びをかなえる授業デザインと評価、私学ならではのカリキュラムのあり方を探究していく。

- ◆ 会 期 ◆ 2019年6月21日（金）
- ◆ 会 場 ◆ [東山中学高等学校](#)（京都府京都市左京区永観堂町 51）
※京都市バス「南禅寺・永観堂道」下車 東へ徒歩 5 分
地下鉄東西線「蹴上」下車 1 番出口 北へ徒歩約 10 分
- ◆ 募集人員 ◆ 120 名
- ◆ 参加対象 ◆ 理事長・校長・教頭・教務主任及び教育課程編成等担当教員
※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校
- ◆ 参加費 ◆ 17,000 円（昼食費を含む）
- ◆ 基本日程 ◆

| | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|--------------------|----|-------------|------|----|----|------------------|------|-----|----|-------------|
| | 30 | 30 | | 30 | 30 | 15 | | 05 | | 50 |
| 6 月 21 日 (金) | 受付 | 開 会 式 | 基調講演 | | 昼食 | 学 校 紹 介 | 学校視察 | 分散会 | | 閉 会 式 |

※日程及びプログラムは変更となる場合があります。

- ◆ 研修内容 ◆
 - ◇ 基調講演 ◇
 - 演 題 「教育改革をとらえる視座 ～資質・能力の育成～」
 - 講 師 黒上 晴夫（関西大学総合情報学部総合情報学科 教授）
 - ◇ 学校視察 ◇
 - 東山中学高等学校
 - 全 体 会 視察校代表挨拶 奥田 敏信（東山中学高等学校 校長）
 - 学校紹介 東山中学高等学校 教諭（予定）
 - 授業視察・施設見学
 - ◇ 分散会 ◇
 - テーマ 『主体的・対話的で深い学び』をかなえる授業と評価
 - 6 つのグループに分かれて研究協議・情報交換を行います。

◇ 講師紹介 ◇ 黒上 晴夫 (くろかみ はるお)

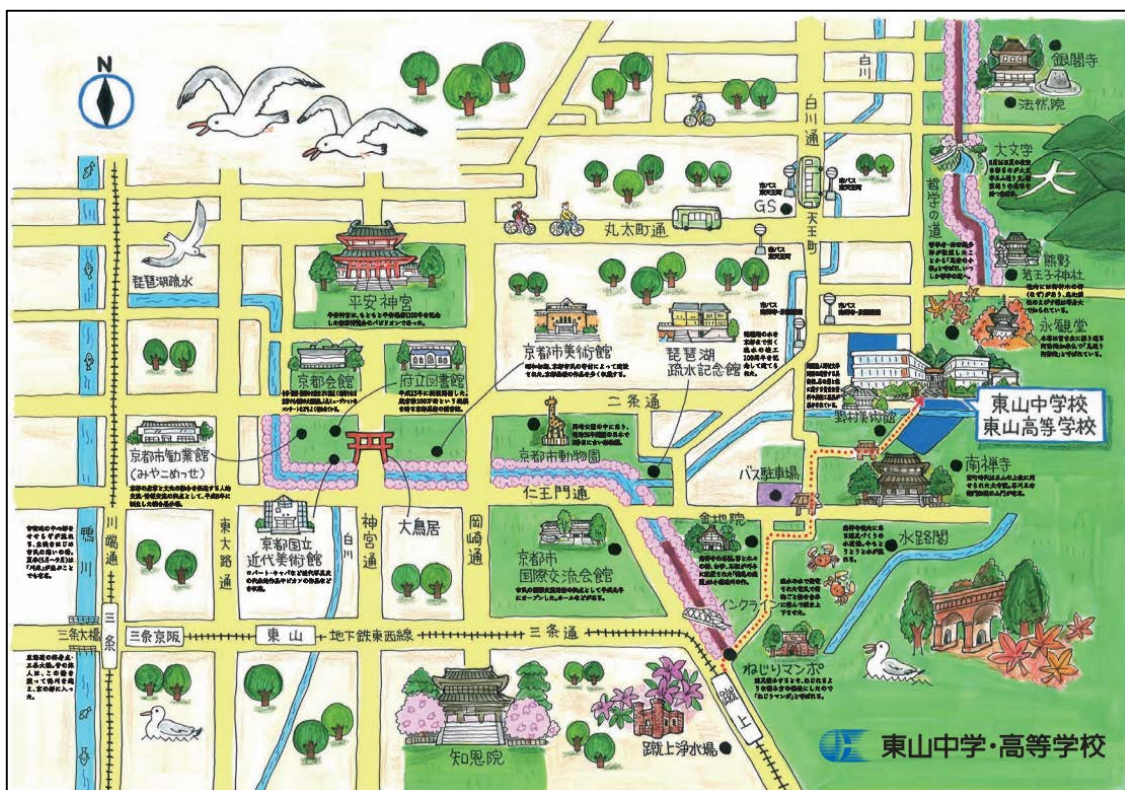
専門は、教育学。近年は、思考ルーブリックによる授業設計と評価、シンキングツールの体系化と普及などに注力。中教審教育課程部会「総則・評価特別部会」「生活・総合的な学習の時間ワーキンググループの委員等を歴任。主な著書に『シンキングツール～考えることを教えたい』(NPO 法人 Filc)『こうすれば考える力がつく！ 中学校思考ツール』『考えるってこういうことか！「思考ツール」の授業』(ともに小学館)など。

◇ 視察校紹介 ◇ 東山中学高等学校

東山中学高等学校は、明治元年(1868年)知恩院内に第七十三世名譽学天大僧正が学問所を設けたことが始まりであり、2018年に創立150年を迎えた。当時は幕末の混乱期にあたり、「世の中が混沌とした時こそ学問が必要である」と考えられ、以来、「真理」を求める仏教の本質を拠り所としながら、浄土宗祖法然上人の教えに根ざした人づくりを実践してきた。法然上人の教えは、自律的な人格を形成し、セルフ・リーダーシップ(自ら情熱と主体性をもって行動し、夢を実現させ目標を達成する力)を育む東山の教育に深く息づいている。

教育目標であるセルフ・リーダーシップ育成のために、3つのオリジナルツール(『未来を築く10年カレンダー』、『夢をかねる生徒手帳』、『歴史を創る三年日記』)を導入し、計画性の習慣化を図っている。また、自ら考え、答えを導く力を引き出すアクティブ・ラーニングを全教科に取り入れ、教科横断型授業やチーム・ティーチングに取り組み、学校行事・生活指導ともリンクさせている。

◆ 会場案内図 ◆ 東山中学高等学校



東山中学高等学校ホームページ (<http://www.higashiyama.ed.jp/>) より

◆ 講師・指導員 (順不同) ◆

- | | | |
|-------|------------------|--------|
| 黒上 晴夫 | 関西大学総合情報学部総合情報学科 | 教授 |
| 奥田 歆信 | 東山中学高等学校 | 校長 |
| 吉田 晋 | 富士見丘中学高等学校 | 理事長・校長 |
| 中川 武夫 | 一般財団法人日本私学教育研究所 | 所長 |

◆ 専門委員・客員研究員 (順不同) ◆

- | | | | |
|-------|--------|-------------|--------|
| 専門委員長 | 清水 哲雄 | 学校法人鷗友学園 | 理事長 |
| 専門委員 | 鈴木 弘 | 香蘭女学校中等科高等科 | 校長 |
| | 北村 聡 | 京都外大西高等学校 | 校長 |
| | 大多和 聡宏 | 開星中学高等学校 | 理事長・校長 |
| 客員研究員 | 助川 幸彦 | 蒲田女子高等学校 | 校長補佐 |
| | 山本 与志春 | 学校法人青山学院 | 院長 |

◇ 当研修会実施案内・参加申込書は4月初旬頃に全国の私立中学高等学校に郵送し、募集を開始します。4月以降は当研究所ホームページからダウンロードできます。

【照会先】(一財)日本私学教育研究所 一般研修担当 TEL 03(3222)1621